

2020年3月期 第1四半期決算

2019年7月26日



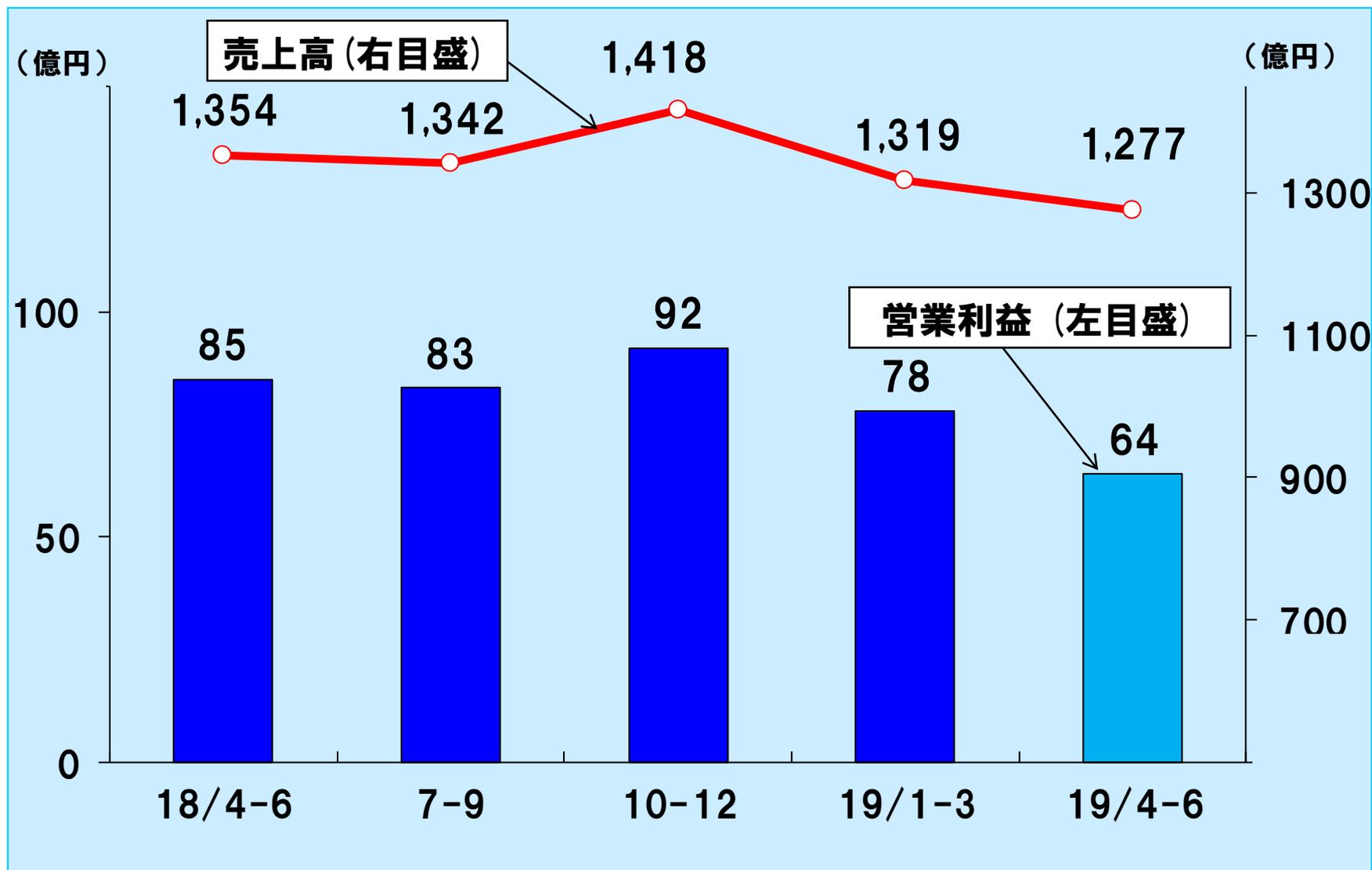
19/4-6実績の概要

(億円)	18年度 4-6実績	19年度 4-6実績	前年同期比
売上高	1,354	1,277	△77
営業利益	85	64	△21
経常利益	94	65	△29
当期利益(※)	57	95	+38

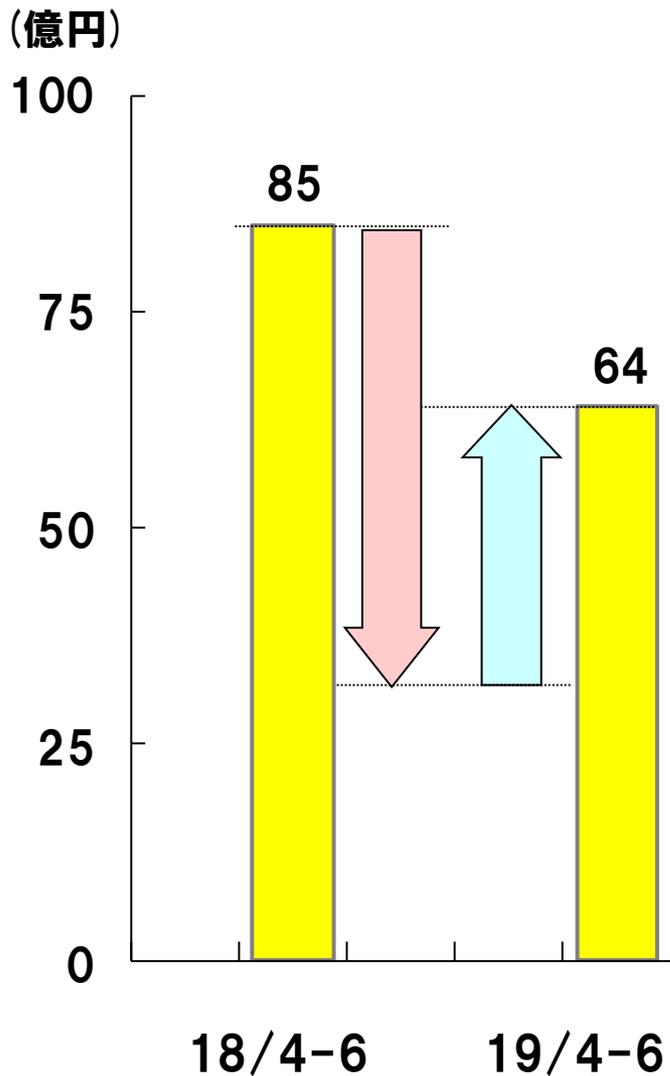
※:親会社株主に帰属する四半期純利益

➤ 売価改善効果あるも、中国自動車減速・半導体関連需要減速等
売上数量減少により減収・減益。
ただし、当期利益は、土地売却益の計上により増益。

売上高・営業利益 実績推移(四半期)



19/4-6 営業利益の変化要因 (前年同期比)



18/4-6営業利益	
前年同期対比変化	原燃料市況
	数量変化
	価格変化
	内容差他
	変動費
	固定費
	新規
	合計
19/4-6営業利益	

(億円)

85	
-11	/
-32	/
/	+22
-4	/
-3	/
/	+4
/	+3
-50	+29
64 (-21)	

■ セグメント別売上高・営業利益(前年同期比)

(億円)

		18年度 4-6実績 (A)	19年度 4-6実績 (B)	前年度差 (B) - (A)
特殊鋼鋼材	売上高	527	499	-28
	営業利益	10	12	2
機能材料・磁性材料	売上高	470	429	-41
	営業利益	61	36	-25
自動車部品・ 産業機械部品	売上高	272	250	-22
	営業利益	6	4	-2
エンジニアリング	売上高	51	53	2
	営業利益	1	5	4
流通・サービス	売上高	34	46	12
	営業利益	7	7	0
合計	売上高	1,354	1,277	-77
	営業利益	85	64	-21

鋼材売上数量(単体)

347 千t

318 千t

-29 千t

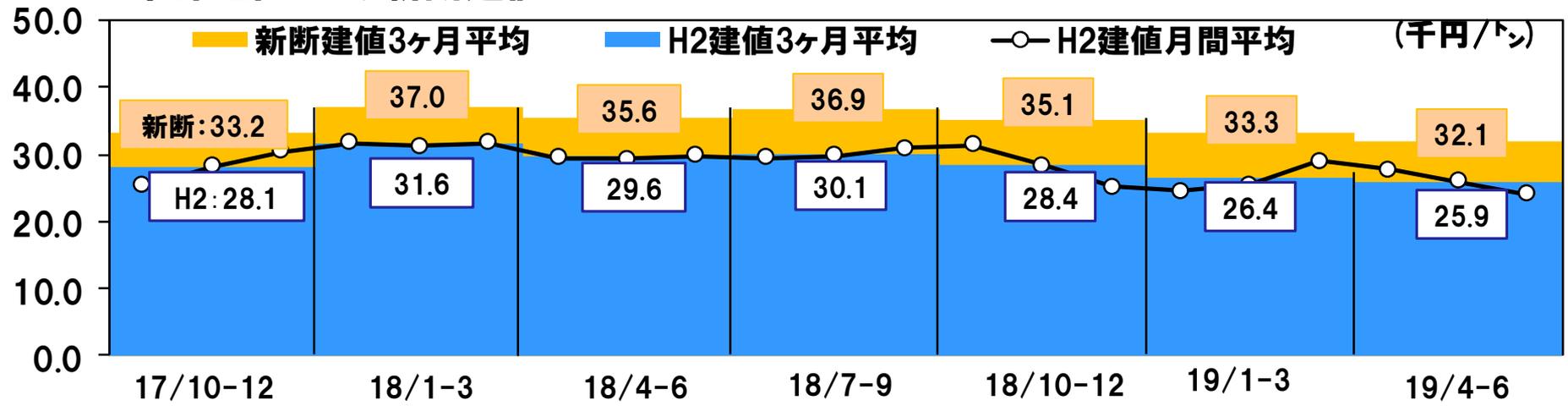
19/4-6主要セグメント営業利益変化 (前年同期比)

(億円)

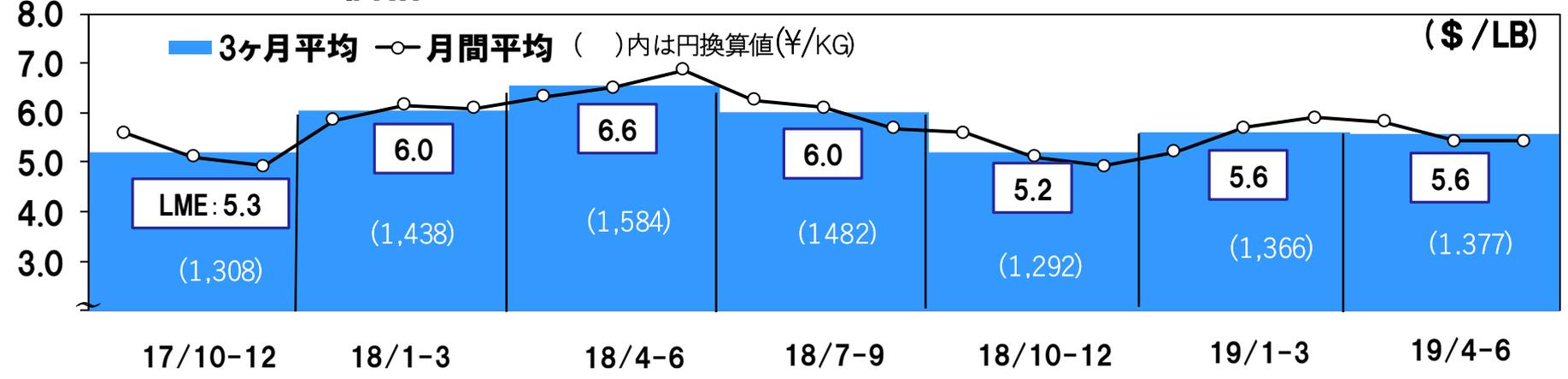
セグメント			特殊鋼鋼材	機能材料 磁性材料	自動車部品 産業機械部品	エンジニア リング
18/4-6営業利益			10	61	6	1
前年同期対比変化	営業損益	原燃料市況	-6	-2	-3	
		数量変化	-7	-16	-9	
		価格変化				+4
		内容差他	-3	-8		+4
		変動費		-3		
		固定費				+1
		新規				+1
		合計	-16	+18	-12	+10
19/4-6営業利益			12 (+2)	36 (-25)	4 (-2)	5 (+4)

原料市況(鉄スクラップ・ニッケル)

<中部地区H2、新断建値>



<ニッケルLME価格>



19/4-6 市況実績

	単位	19/4-9 計画前提	19/4-6 実績(計画差)
鉄スクラップ 上段:中部H2建値 下段:中部新断建値	千円/t	28.0 35.0	25.9 (-2.1) 32.1 (-2.9)
ニッケル (LME)	\$/LB	5.5	5.6 (+0.1)
原油 (ドバイ)	\$/B	60.0	66.1 (+6.1)
為替レート (TTM)	円/\$	110.0	110.9 (+0.9)

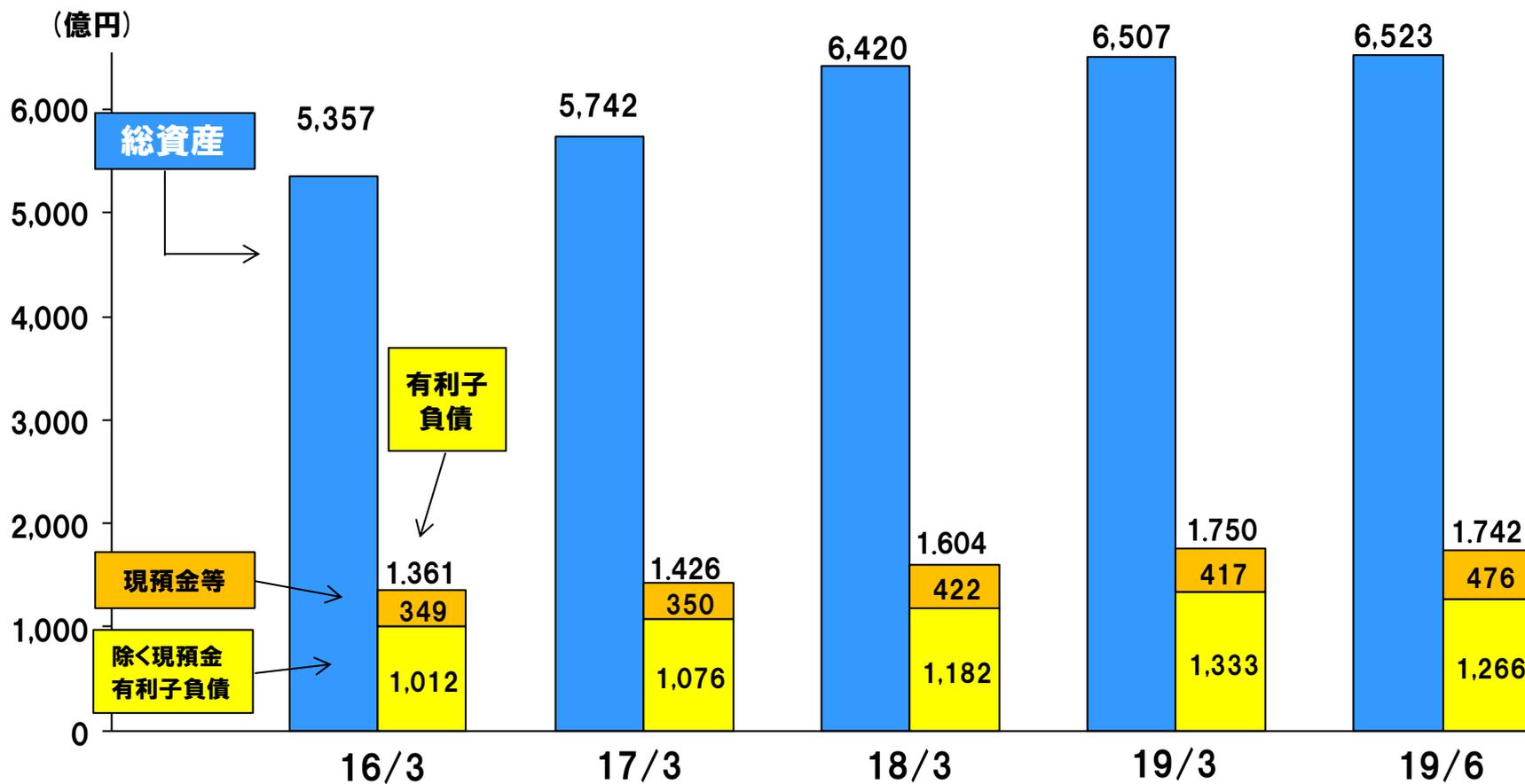
19/4-6 経常利益・当期純利益について

(億円)

営業利益	64
営業外収益・費用	1
経常利益	65
特別損益	74
法人税ほか	▲44
当期純利益^(※)	95

※:親会社株主に帰属する四半期純利益

■ 総資産、有利子負債、D/Eレシオ



	16/3	17/3	18/3	19/3	19/6
ROA	4.5%	4.8%	5.9%	5.3%	4.0%
D/E	0.58	0.55	0.56	0.61	0.60

(注記)

本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。

今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。